

。○。○。○。○。

下水道の最新情報をお届けします！

発行日：2015. 8. 24

下水道機構の『新技術情報』 第201号

(公財) 日本下水道新技術機構 <http://www.jiwet.or.jp/>

。○。○。○。○。

読者の皆様お久しぶりです&残暑お見舞い申し上げます。メールマガジンも夏休みをいただきまして、3週間ぶりの配信となります。その間、季節が幾分か進んだように感じます。セミはおとなしくなり、夜は鈴虫の音が聞こえ、日も短くなってきましたね。

それでは機構メールマガジン『新技術情報』第201号をお届けします。

業務に、Tea Breakにどうぞご活用ください。

◆◆◆トピックス◆◆◆

■インフォメーション

・8/26(水)開催の新技術セミナー(大阪会場)は、定員に達したため、募集を締め切りました

■機構の動き

・今週は、8/26(水)に下水道新技術セミナー(大阪会場)を開催します。

■Tea Break

・機構在籍5ヶ月を経過する現在(いま)、ふり返って。。。(研究第二部 S.B.さんからの投稿です)

■まる子のゆいまーる♪

・今回は、夏休み終盤!まる子の自由研究ツアー@小平市ふれあい下水道館をお届けします

■国からの情報

・8/14付下水道ホットインフォメーション

。○。○。○。○。

インフォメーション (最新の話です)

。○。○。○。○。

●8/26(水)開催の新技術セミナー(大阪会場)は、定員に達したため、募集を締め切り

ました

おかげさまで、申し込み多数により、募集を締め切りました。次回の新技術セミナーは11月に開催予定です。日時、テーマ等は詳細が決まり次第、メールマガジン、ホームページにてお知らせいたします。

。○○。

機構の動き （機構の行事予定です）

。○○。

●平成27年8月26日(水)13:00~16:45【大阪会場】

行 事：第61回下水道新技術セミナー

テーマ：下水汚泥のエネルギー化技術について

場 所： 大阪市西区 大阪科学技術センター

※参加お申し込みは締め切りました。

○平成27年8月27日(木)13:30~15:30

行 事：第1回調査検討支援委員会

案 件：昨年度議事録の説明及び今回助言対象の説明など

場 所：下水道機構8階 特別会議室

○平成27年9月10日(木) 17:00~18:00

行 事：第340回技術サロン

場 所：機構8階 中会議室

ゲスト：公益社団法人 日本下水道協会 技術研究部

技術指針課長 林 幹雄 氏

テーマ：「下水道協会における技術指針類改訂の取組について

～下水汚泥有効利用促進マニュアル～（仮）」

※お申し込みは機構ホームページから

→ <http://www.jiwet.or.jp/trainings/tech-salon/salon-form>

。○○。

Tea Break （機構職員の感じるまま）

。○○。

●機構在籍5ヶ月を経過する現在（いま）、ふり返って。。（研究第二部 S.B.さんからの投稿です）

早いもので、4月の辞令交付から5ヶ月が経過しようとしています。この間に、前任者から引き継いだ「K市／合流改善検討業務」の報告書作成や「下水処理場の情報共有化に関する共同研究」の推進、委員会の開催、年報の作成、下水道研究発表会での発表対応、国土交通省から受託した「管渠内水位観測に関する検討業務」の立上げ、等、“不慣れな業務をバタバタとこなしてきた”というのが率直な感想です。また、その傍らで技術士二次試験の受験や研究第二部OB会の開催取り纏め、等、濃厚

=====

●平成 27 年度下水道技術研究開発（G A I A プロジェクト）の公募について【国土交通省】

国土交通省では、地域毎に異なる下水道の政策課題の解決を目的として、下水道分野の技術研究開発の未来を担う若手研究者との連携等により、大学等の研究機関が有する先端的な技術の活用や実用化を促進し、成果の普及を図るため、下水道技術研究開発（G A I A プロジェクト）を実施します。

この度、[1]都市浸水対策に関する技術研究開発、[2]生態系の保全・再生に配慮した下水処理に関する技術研究開発、[3]流域全体における資源・エネルギーの最適管理に資する技術研究開発の提案を公募することとしましたので、お知らせします。

※G A I A プロジェクト：Gesuido Academic Incubation Advanced Project

詳しくは、以下の国土交通省HPをご覧ください。

→

http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/mizukokudo_sewerage_tk_000375.html

●「下水道による浸水対策に適用可能な水位等観測機器のモデル検討調査」の共同研究者（水位計等メーカー）募集開始について【(公財)日本下水道新技術機構】

今後、地方公共団体において、既存ストックを活用し、安く・早く浸水被害を解消する取組みを推進するためには、下水道管渠内水位等の観測情報の活用が必要不可欠になると考えられますが、コスト面や維持管理性などの運用に関する情報が乏しく、また、情報を蓄積する目的に対して、どのような機器をどのような場所に設置すればよいのかなどの知見についての整理が不十分であること、機器のメーカーごとに水位等観測機器の規格が異なることなどの課題があると考えられます。

このため、観測目的、手順、適切な設置場所等の考え方の標準化や、蓄積すべき観測情報に対する水位計等の計測機器の統一的な規格の考え方を検討し、地方公共団体による下水道管渠内水位等の観測の促進や技術開発を推進して参りたいと考えています。そこで、具体的な検討事例を積み上げるため、実際の排水区において、水位等観測調査を実施して頂く水位計等メーカーを、平成 27 年 8 月 13 日から平成 27 年 8 月 26 日の期間で募集を開始しました。

調査は、平成 27 年度に国土交通省から受託を受けた業務の一環として、公益財団法人日本下水道新技術機構で行います。詳しくは以下のHP（「共同研究者募集」の欄をクリック）に掲載されている募集要領・応募用紙をご確認ください。

→ <http://www.jiwet.or.jp/>

●NHK「くらし解説」にて「水素リーダー都市プロジェクト」が紹介される予定【国土交通省】

放送日：8/19（水）10：05～10：15

番組「くらし解説」において、水素社会がどの様に形成されていくのかをテーマに、風力（長崎県五島市）や太陽光（株東芝）から水素を製造する事例に加え、バイオマスから製造するB-DASHプロジェクト「水素リーダー都市プロジェクト」が紹介される予定。

→ <http://www.nhk.or.jp/kaisetsu/kurashi/>

=====

◆汚泥水素で「ミライ」走る バイオマスが再び脚光〈8/12 日本経済新聞〉

<http://www.nikkei.com/article/DGXMZ089147320Q5A710C1000000/>

◆豪雨で浸水、入り口で防ぐ シートや防水板、隙間なくす〈8/12 日本経済新聞〉

<http://www.nikkei.com/article/DGKKZ090411640R10C15A8NZ1P00/>

◆「下水道の普及率」(大災害への備えの一つとして、公共下水道施策に取り組んで
もらいたい)〈8/7 紀伊民報〉

<http://www.agara.co.jp/column/mizu/?i=299385>

◆下水道いろいろコンクで国交大臣賞〈8/7 東日新聞〉

<http://www.tonichi.net/news/index.php?id=46612>

◆東京都心、川遊びの夏 カヌー、クルーズ…水辺きれいに〈8/10 朝日新聞デジタル〉

<http://www.asahi.com/articles/ASH7K5D7JH7KUQ1P01H.html>

◆広島県HPの浸水想定図リニューアル 「洪水ポータル」始動〈8/10 産経ニュー
ス〉

<http://www.sankei.com/region/news/150810/rgn1508100019-n1.html>

◆「下水道新聞を作ろう」 浜田の児童と保護者施設見学〈8/10 山陰中央日報〉

<http://www.sanin-chuo.co.jp/news/modules/news/article.php?storyid=554327248>

発行元：公益財団法人 日本下水道新技術機構 企画部

〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル 7F

TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ：<http://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えしたい情報をお持ちの方はこちらから → jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから

→ jiwet@jiwet.or.jp

○ニュースレターはこちらから

→ <http://www.jiwet.or.jp/newsletter/20150421/>
